

科目名	企画科目（仏教芸術）	学期	前期	単位数	2	担当者	和田圭子（副担任：静慈圓）
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：高野山内に伝わる仏教美術について学び、さらに実地に仏像、仏画等に接することによって、より深い仏教美術の知識を学び、培うことを到達目標とする。 テーマ：高野山における仏教美術研究							
授業の概要 高野山霊宝館の所蔵品を中心に、高野山における仏教美術、特に密教美術について作品の特徴や歴史的意義について学ぶ。特に高野山霊宝館において実際に仏像、仏画等を鑑賞しつつ知識を深める。							
授業計画 1. はじめに：仏教美術作品鑑賞に関する基礎知識 2. 高野山の仏教美術の歴史 3. 高野山霊宝館での作品研究（1） 4. 高野山の仏教美術1：両界曼荼羅 5. 高野山の仏教美術2：別尊曼荼羅 6. 高野山の仏教美術3：一切経等 7. 高野山霊宝館での作品研究（2） 8. 高野山の仏教美術4：如来 9. 高野山の仏教美術5：菩薩 10. 高野山の仏教美術6：明王 11. 高野山霊宝館での作品研究（3） 12. 高野山の仏教美術7：天部 13. 高野山の仏教美術8：祖師等 14. 高野山の工芸：密教法具等 15. 高野山霊宝館での作品研究（4） 16. レポートの課題に関する解説と講評							
テキスト 授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。							
参考書・参考資料等 『日本古寺美術全集』集英社、『高野山秘宝大観』フジタ							
学生に対する評価 期末レポート（60%）、霊宝館見学と授業への参加度（40%）の比率で評価する。 霊宝館において見学した作品を1点選び、それに関する4000字程度のレポートを提出する。							
ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）仏教美術鑑賞に関する基礎知識を理解している。 （良）高野山の仏教美術作品について概略を簡単に説明できる。 （優）高野山の仏教美術作品を見ながら自分の言葉で説明することができる。							
その他 履修する学生は社会経験と就業経験を身につけるために、授業とは別に指示に従って高野山霊宝館の受付や案内業務を体験する。 様々な観点から積極的に作品を鑑賞する態度が望ましい。							